

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q001

○ x

鉄筋コンクリート造

次の記述は正しいか。
鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：○

解説：RC造の基本は、コンクリートの圧縮抵抗と鉄筋の引張抵抗を組み合わせる点にある。

要点：建築構造・RC造

Q002

○ x

鉄筋コンクリート造

次の記述は正しいか。
鉄筋コンクリート造では、鉄筋は装飾目的だけで構造上の役割を持たない。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：x

解説：RC造の基本は、コンクリートの圧縮抵抗と鉄筋の引張抵抗を組み合わせる点にある。

要点：建築構造・RC造

Q003

2択

鉄筋コンクリート造

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 鉄筋コンクリート造では、鉄筋は装飾目的だけで構造上の役割を持たない。
2. 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。

答え・解説

正答：鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。

解説：RC造の基本は、コンクリートの圧縮抵抗と鉄筋の引張抵抗を組み合わせる点にある。

要点：建築構造・RC造

Q004

4択

鉄筋コンクリート造

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 鉄筋コンクリート造では、鉄筋は装飾目的だけで構造上の役割を持たない。
B. 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。
C. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
D. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。

答え・解説

正答：B. 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。

解説：RC造の基本は、コンクリートの圧縮抵抗と鉄筋の引張抵抗を組み合わせる点にある。

要点：建築構造・RC造

Q005

4択

鉄筋コンクリート造

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。
B. 鉄筋コンクリート造では、鉄筋は装飾目的だけで構造上の役割を持たない。
C. 大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。
D. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。

答え・解説

正答：B. 鉄筋コンクリート造では、鉄筋は装飾目的だけで構造上の役割を持たない。

解説：RC造の基本は、コンクリートの圧縮抵抗と鉄筋の引張抵抗を組み合わせる点にある。

要点：建築構造・RC造

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q006

○ x

鉄筋コンクリート造

基礎確認：次の説明は適切か。
鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：○

解説：RC造の基本は、コンクリートの圧縮抵抗と鉄筋の引張抵抗を組み合わせる点にある。
要点：建築構造・RC造

Q007

○ x

鉄筋コンクリート造

基礎確認：次の説明は適切か。
鉄筋コンクリート造では、鉄筋は装飾目的だけで構造上の役割を持たない。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：x

解説：RC造の基本は、コンクリートの圧縮抵抗と鉄筋の引張抵抗を組み合わせる点にある。
要点：建築構造・RC造

Q008

2択

鉄筋コンクリート造

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

- 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。
- 鉄筋コンクリート造では、鉄筋は装飾目的だけで構造上の役割を持たない。

答え・解説

正答：鉄筋コンクリート造では、鉄筋は装飾目的だけで構造上の役割を持たない。

解説：RC造の基本は、コンクリートの圧縮抵抗と鉄筋の引張抵抗を組み合わせる点にある。
要点：建築構造・RC造

Q009

4択

鉄筋コンクリート造

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
B. これは会計上の未収金の別名である。
C. 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。
D. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。

答え・解説

正答：C. 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。

解説：RC造の基本は、コンクリートの圧縮抵抗と鉄筋の引張抵抗を組み合わせる点にある。
要点：建築構造・RC造

Q010

4択

鉄筋コンクリート造

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。
B. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。
C. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
D. 鉄筋コンクリート造では、鉄筋は装飾目的だけで構造上の役割を持たない。

答え・解説

正答：D. 鉄筋コンクリート造では、鉄筋は装飾目的だけで構造上の役割を持たない。

解説：RC造の基本は、コンクリートの圧縮抵抗と鉄筋の引張抵抗を組み合わせる点にある。
要点：建築構造・RC造

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q011

○ ×

中性化

次の記述は正しいか。
コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○
解説：中性化はRC造マンションの劣化診断で重要な論点である。
要点：建築劣化・中性化

Q012

○ ×

中性化

次の記述は正しいか。
コンクリートの中性化が進むほど、鉄筋腐食のリスクは必ず完全になくなる。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×
解説：中性化はRC造マンションの劣化診断で重要な論点である。
要点：建築劣化・中性化

Q013

2択

中性化

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. コンクリートの中性化が進むほど、鉄筋腐食のリスクは必ず完全になくなる。
2. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。

答え・解説

正答：コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。
解説：中性化はRC造マンションの劣化診断で重要な論点である。
要点：建築劣化・中性化

Q014

4択

中性化

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
B. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
C. コンクリートの中性化が進むほど、鉄筋腐食のリスクは必ず完全になくなる。
D. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。

答え・解説

正答：D. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。
解説：中性化はRC造マンションの劣化診断で重要な論点である。
要点：建築劣化・中性化

Q015

4択

中性化

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. コンクリートの中性化が進むほど、鉄筋腐食のリスクは必ず完全になくなる。
B. 排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。
C. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
D. マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。

答え・解説

正答：A. コンクリートの中性化が進むほど、鉄筋腐食のリスクは必ず完全になくなる。
解説：中性化はRC造マンションの劣化診断で重要な論点である。
要点：建築劣化・中性化

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q016

○ ×

中性化

基礎確認：次の説明は適切か。
コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○
解説：中性化はRC造マンションの劣化診断で重要な論点である。
要点：建築劣化・中性化

Q017

○ ×

中性化

基礎確認：次の説明は適切か。
コンクリートの中性化が進むほど、鉄筋腐食のリスクは必ず完全になくなる。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×
解説：中性化はRC造マンションの劣化診断で重要な論点である。
要点：建築劣化・中性化

Q018

2択

中性化

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. コンクリートの中性化が進むほど、鉄筋腐食のリスクは必ず完全になくなる。
2. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。

答え・解説

正答：コンクリートの中性化が進むほど、鉄筋腐食のリスクは必ず完全になくなる。
解説：中性化はRC造マンションの劣化診断で重要な論点である。
要点：建築劣化・中性化

Q019

4択

中性化

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
B. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。
C. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
D. これは会計上の未収金の別名である。

答え・解説

正答：B. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。
解説：中性化はRC造マンションの劣化診断で重要な論点である。
要点：建築劣化・中性化

Q020

4択

中性化

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. コンクリートの中性化が進むほど、鉄筋腐食のリスクは必ず完全になくなる。
B. 外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。
C. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
D. マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。

答え・解説

正答：A. コンクリートの中性化が進むほど、鉄筋腐食のリスクは必ず完全になくなる。
解説：中性化はRC造マンションの劣化診断で重要な論点である。
要点：建築劣化・中性化

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q021

○ x

塩害

次の記述は正しいか。
塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：○

解説：塩害は鉄筋腐食とひび割れ・剥落につながる劣化要因である。

要点：建築劣化・塩害

Q022

○ x

塩害

次の記述は正しいか。
塩害とは、エントランスに塩を置くと建物が必ず耐震化する現象である。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：x

解説：塩害は鉄筋腐食とひび割れ・剥落につながる劣化要因である。

要点：建築劣化・塩害

Q023

2択

塩害

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。
2. 塩害とは、エントランスに塩を置くと建物が必ず耐震化する現象である。

答え・解説

正答：塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。

解説：塩害は鉄筋腐食とひび割れ・剥落につながる劣化要因である。

要点：建築劣化・塩害

Q024

4択

塩害

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
- B. 塩害とは、エントランスに塩を置くと建物が必ず耐震化する現象である。
- C. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
- D. 塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。

答え・解説

正答：D. 塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。

解説：塩害は鉄筋腐食とひび割れ・剥落につながる劣化要因である。

要点：建築劣化・塩害

Q025

4択

塩害

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。
- B. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
- C. 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。
- D. 塩害とは、エントランスに塩を置くと建物が必ず耐震化する現象である。

答え・解説

正答：D. 塩害とは、エントランスに塩を置くと建物が必ず耐震化する現象である。

解説：塩害は鉄筋腐食とひび割れ・剥落につながる劣化要因である。

要点：建築劣化・塩害

Q026 ○ x 塩害 基礎確認：次の説明は適切か。 塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。 選択肢 ○ x	答え・解説 正答：○ 解説：塩害は鉄筋腐食とひび割れ・剥落につながる劣化要因である。 要点：建築劣化・塩害
Q027 ○ x 塩害 基礎確認：次の説明は適切か。 塩害とは、エントランスに塩を置くと建物が必ず耐震化する現象である。 選択肢 ○ x	答え・解説 正答：x 解説：塩害は鉄筋腐食とひび割れ・剥落につながる劣化要因である。 要点：建築劣化・塩害
Q028 2択 塩害 次のうち、誤っている記述はどちらか。 選択肢 1. 塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。 2. 塩害とは、エントランスに塩を置くと建物が必ず耐震化する現象である。	答え・解説 正答：塩害とは、エントランスに塩を置くと建物が必ず耐震化する現象である。 解説：塩害は鉄筋腐食とひび割れ・剥落につながる劣化要因である。 要点：建築劣化・塩害
Q029 4択 塩害 管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。 選択肢 A. 塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。 B. これは会計上の未収金の別名である。 C. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。 D. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。	答え・解説 正答：A. 塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。 解説：塩害は鉄筋腐食とひび割れ・剥落につながる劣化要因である。 要点：建築劣化・塩害
Q030 4択 塩害 管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。 選択肢 A. 外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。 B. 塩害とは、エントランスに塩を置くと建物が必ず耐震化する現象である。 C. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。 D. 大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。	答え・解説 正答：B. 塩害とは、エントランスに塩を置くと建物が必ず耐震化する現象である。 解説：塩害は鉄筋腐食とひび割れ・剥落につながる劣化要因である。 要点：建築劣化・塩害

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q031

○ x

外壁タイルの浮き

次の記述は正しいか。
外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。
選択肢
○
x

答え・解説

正答：○
解説：外壁の浮き・ひび割れは安全性と美観・防水性に関わる。
要点：建築劣化・外壁

Q032

○ x

外壁タイルの浮き

次の記述は正しいか。
外壁タイルの浮きは、剥落事故とは無関係で、調査や補修をしてはならない。
選択肢
○
x

答え・解説

正答：x
解説：外壁の浮き・ひび割れは安全性と美観・防水性に関わる。
要点：建築劣化・外壁

Q033

2択

外壁タイルの浮き

次のうち、正しい記述はどちらか。
選択肢
1. 外壁タイルの浮きは、剥落事故とは無関係で、調査や補修をしてはならない。
2. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。

答え・解説

正答：外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。
解説：外壁の浮き・ひび割れは安全性と美観・防水性に関わる。
要点：建築劣化・外壁

Q034

4択

外壁タイルの浮き

次のうち、最も適切なものはどれか。
選択肢
A. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
B. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
C. 外壁タイルの浮きは、剥落事故とは無関係で、調査や補修をしてはならない。
D. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。

答え・解説

正答：D. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。
解説：外壁の浮き・ひび割れは安全性と美観・防水性に関わる。
要点：建築劣化・外壁

Q035

4択

外壁タイルの浮き

次のうち、不適切なものはどれか。
選択肢
A. 排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。
B. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。
C. 外壁タイルの浮きは、剥落事故とは無関係で、調査や補修をしてはならない。
D. 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。

答え・解説

正答：C. 外壁タイルの浮きは、剥落事故とは無関係で、調査や補修をしてはならない。
解説：外壁の浮き・ひび割れは安全性と美観・防水性に関わる。
要点：建築劣化・外壁

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q036

○ ×

外壁タイルの浮き

基礎確認：次の説明は適切か。
外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。
選択肢
○
×

答え・解説

正答：○
解説：外壁の浮き・ひび割れは安全性と美観・防水性に関わる。
要点：建築劣化・外壁

Q037

○ ×

外壁タイルの浮き

基礎確認：次の説明は適切か。
外壁タイルの浮きは、剥落事故とは無関係で、調査や補修をしてはならない。
選択肢
○
×

答え・解説

正答：×
解説：外壁の浮き・ひび割れは安全性と美観・防水性に関わる。
要点：建築劣化・外壁

Q038

2択

外壁タイルの浮き

次のうち、誤っている記述はどちらか。
選択肢
1. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。
2. 外壁タイルの浮きは、剥落事故とは無関係で、調査や補修をしてはならない。

答え・解説

正答：外壁タイルの浮きは、剥落事故とは無関係で、調査や補修をしてはならない。
解説：外壁の浮き・ひび割れは安全性と美観・防水性に関わる。
要点：建築劣化・外壁

Q039

4択

外壁タイルの浮き

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。
選択肢
A. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
B. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
C. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。
D. これは会計上の未収金の別名である。

答え・解説

正答：C. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。
解説：外壁の浮き・ひび割れは安全性と美観・防水性に関わる。
要点：建築劣化・外壁

Q040

4択

外壁タイルの浮き

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。
選択肢
A. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
B. 塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。
C. 外壁タイルの浮きは、剥落事故とは無関係で、調査や補修をしてはならない。
D. 排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。

答え・解説

正答：C. 外壁タイルの浮きは、剥落事故とは無関係で、調査や補修をしてはならない。
解説：外壁の浮き・ひび割れは安全性と美観・防水性に関わる。
要点：建築劣化・外壁

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q041

○ ×

シーリング材

次の記述は正しいか。
外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：シーリングの劣化は漏水リスクに直結するため、修繕計画上重要となる。

要点：建築材料・シーリング

Q042

○ ×

シーリング材

次の記述は正しいか。
シーリング材は経年劣化せず、建物竣工後に一切点検する必要がある。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：シーリングの劣化は漏水リスクに直結するため、修繕計画上重要となる。

要点：建築材料・シーリング

Q043

2択

シーリング材

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。
2. シーリング材は経年劣化せず、建物竣工後に一切点検する必要がある。

答え・解説

正答：外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。

解説：シーリングの劣化は漏水リスクに直結するため、修繕計画上重要となる。

要点：建築材料・シーリング

Q044

4択

シーリング材

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。
- B. シーリング材は経年劣化せず、建物竣工後に一切点検する必要がある。
- C. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
- D. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。

答え・解説

正答：A. 外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。

解説：シーリングの劣化は漏水リスクに直結するため、修繕計画上重要となる。

要点：建築材料・シーリング

Q045

4択

シーリング材

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。
- B. 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。
- C. シーリング材は経年劣化せず、建物竣工後に一切点検する必要がある。
- D. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。

答え・解説

正答：C. シーリング材は経年劣化せず、建物竣工後に一切点検する必要がある。

解説：シーリングの劣化は漏水リスクに直結するため、修繕計画上重要となる。

要点：建築材料・シーリング

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q046

○ x

シーリング材

基礎確認：次の説明は適切か。
外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：○
解説：シーリングの劣化は漏水リスクに直結するため、修繕計画上重要となる。
要点：建築材料・シーリング

Q047

○ x

シーリング材

基礎確認：次の説明は適切か。
シーリング材は経年劣化せず、建物竣工後に一切点検する必要がある。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：x
解説：シーリングの劣化は漏水リスクに直結するため、修繕計画上重要となる。
要点：建築材料・シーリング

Q048

2択

シーリング材

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。
2. シーリング材は経年劣化せず、建物竣工後に一切点検する必要がある。

答え・解説

正答：シーリング材は経年劣化せず、建物竣工後に一切点検する必要がある。
解説：シーリングの劣化は漏水リスクに直結するため、修繕計画上重要となる。
要点：建築材料・シーリング

Q049

4択

シーリング材

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
B. これは会計上の未収金の別名である。
C. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
D. 外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。

答え・解説

正答：D. 外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。
解説：シーリングの劣化は漏水リスクに直結するため、修繕計画上重要となる。
要点：建築材料・シーリング

Q050

4択

シーリング材

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. シーリング材は経年劣化せず、建物竣工後に一切点検する必要がある。
B. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
C. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。
D. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。

答え・解説

正答：A. シーリング材は経年劣化せず、建物竣工後に一切点検する必要がある。
解説：シーリングの劣化は漏水リスクに直結するため、修繕計画上重要となる。
要点：建築材料・シーリング

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q051

○ x

屋上防水

次の記述は正しいか。
屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：○
解説：屋上防水は雨水侵入を防ぐ重要部位であり、劣化時には漏水や躯体劣化につながる。
要点：建築維持修繕・防水

Q052

○ x

屋上防水

次の記述は正しいか。
屋上防水層は劣化しても漏水に関係しないため、点検してはならない。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：x
解説：屋上防水は雨水侵入を防ぐ重要部位であり、劣化時には漏水や躯体劣化につながる。
要点：建築維持修繕・防水

Q053

2択

屋上防水

次のうち、正しい記述はどちらか。
選択肢
1. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
2. 屋上防水層は劣化しても漏水に関係しないため、点検してはならない。

答え・解説

正答：屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
解説：屋上防水は雨水侵入を防ぐ重要部位であり、劣化時には漏水や躯体劣化につながる。
要点：建築維持修繕・防水

Q054

4択

屋上防水

次のうち、最も適切なものはどれか。
選択肢
A. 屋上防水層は劣化しても漏水に関係しないため、点検してはならない。
B. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
C. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
D. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。

答え・解説

正答：C. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
解説：屋上防水は雨水侵入を防ぐ重要部位であり、劣化時には漏水や躯体劣化につながる。
要点：建築維持修繕・防水

Q055

4択

屋上防水

次のうち、不適切なものはどれか。
選択肢
A. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。
B. 屋上防水層は劣化しても漏水に関係しないため、点検してはならない。
C. 外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。
D. 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。

答え・解説

正答：B. 屋上防水層は劣化しても漏水に関係しないため、点検してはならない。
解説：屋上防水は雨水侵入を防ぐ重要部位であり、劣化時には漏水や躯体劣化につながる。
要点：建築維持修繕・防水

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q056

○ x

屋上防水

基礎確認：次の説明は適切か。
屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：○

解説：屋上防水は雨水侵入を防ぐ重要部位であり、劣化時には漏水や躯体劣化につながる。

要点：建築維持修繕・防水

Q057

○ x

屋上防水

基礎確認：次の説明は適切か。
屋上防水層は劣化しても漏水に関係しないため、点検してはならない。

選択肢

○
x

答え・解説

正答：x

解説：屋上防水は雨水侵入を防ぐ重要部位であり、劣化時には漏水や躯体劣化につながる。

要点：建築維持修繕・防水

Q058

2択

屋上防水

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 屋上防水層は劣化しても漏水に関係しないため、点検してはならない。
2. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。

答え・解説

正答：屋上防水層は劣化しても漏水に関係しないため、点検してはならない。

解説：屋上防水は雨水侵入を防ぐ重要部位であり、劣化時には漏水や躯体劣化につながる。

要点：建築維持修繕・防水

Q059

4択

屋上防水

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
B. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
C. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
D. これは会計上の未収金の別名である。

答え・解説

正答：A. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。

解説：屋上防水は雨水侵入を防ぐ重要部位であり、劣化時には漏水や躯体劣化につながる。

要点：建築維持修繕・防水

Q060

4択

屋上防水

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。
B. マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。
C. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。
D. 屋上防水層は劣化しても漏水に関係しないため、点検してはならない。

答え・解説

正答：D. 屋上防水層は劣化しても漏水に関係しないため、点検してはならない。

解説：屋上防水は雨水侵入を防ぐ重要部位であり、劣化時には漏水や躯体劣化につながる。

要点：建築維持修繕・防水

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q061

○ ×

排水トラップ

次の記述は正しいか。
排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○
解説：封水切れや汚れは臭気トラブルの原因となる。
要点：建築設備・排水

Q062

○ ×

排水トラップ

次の記述は正しいか。
排水トラップは、室内の下水臭を積極的に発生させるための設備である。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×
解説：封水切れや汚れは臭気トラブルの原因となる。
要点：建築設備・排水

Q063

2択

排水トラップ

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。
2. 排水トラップは、室内の下水臭を積極的に発生させるための設備である。

答え・解説

正答：排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。
解説：封水切れや汚れは臭気トラブルの原因となる。
要点：建築設備・排水

Q064

4択

排水トラップ

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- 排水トラップは、室内の下水臭を積極的に発生させるための設備である。
- A. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
 - B. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
 - C. 排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。

答え・解説

正答：D. 排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。
解説：封水切れや汚れは臭気トラブルの原因となる。
要点：建築設備・排水

Q065

4択

排水トラップ

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- 排水トラップは、室内の下水臭を積極的に発生させるための設備である。
- A. 塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。
 - B. 大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。
 - C. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。

答え・解説

正答：A. 排水トラップは、室内の下水臭を積極的に発生させるための設備である。
解説：封水切れや汚れは臭気トラブルの原因となる。
要点：建築設備・排水

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q066

○ x

排水トラップ

基礎確認：次の説明は適切か。
排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。
選択肢
○
x

答え・解説

正答：○
解説：封水切れや汚れは臭気トラブルの原因となる。
要点：建築設備・排水

Q067

○ x

排水トラップ

基礎確認：次の説明は適切か。
排水トラップは、室内の下水臭を積極的に発生させるための設備である。
選択肢
○
x

答え・解説

正答：x
解説：封水切れや汚れは臭気トラブルの原因となる。
要点：建築設備・排水

Q068

2択

排水トラップ

次のうち、誤っている記述はどちらか。
選択肢
1. 排水トラップは、室内の下水臭を積極的に発生させるための設備である。
2. 排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。

答え・解説

正答：排水トラップは、室内の下水臭を積極的に発生させるための設備である。
解説：封水切れや汚れは臭気トラブルの原因となる。
要点：建築設備・排水

Q069

4択

排水トラップ

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。
選択肢
A. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
B. 排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。
C. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
D. これは会計上の未収金の別名である。

答え・解説

正答：B. 排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。
解説：封水切れや汚れは臭気トラブルの原因となる。
要点：建築設備・排水

Q070

4択

排水トラップ

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。
選択肢
A. 塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。
B. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。
C. マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。
D. 排水トラップは、室内の下水臭を積極的に発生させるための設備である。

答え・解説

正答：D. 排水トラップは、室内の下水臭を積極的に発生させるための設備である。
解説：封水切れや汚れは臭気トラブルの原因となる。
要点：建築設備・排水

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q071

○ ×

給水方式

次の記述は正しいか。
マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：給水方式は建物規模や地域条件により異なり、維持管理や衛生管理の論点となる。

要点：建築設備・給水

Q072

○ ×

給水方式

次の記述は正しいか。
マンションの給水方式は、全国すべての建物で井戸水をバケツで運ぶ方式だけである。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：給水方式は建物規模や地域条件により異なり、維持管理や衛生管理の論点となる。

要点：建築設備・給水

Q073

2択

給水方式

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. マンションの給水方式は、全国すべての建物で井戸水をバケツで運ぶ方式だけである。
2. マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。

答え・解説

正答：マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。

解説：給水方式は建物規模や地域条件により異なり、維持管理や衛生管理の論点となる。

要点：建築設備・給水

Q074

4択

給水方式

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
B. マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。
C. マンションの給水方式は、全国すべての建物で井戸水をバケツで運ぶ方式だけである。
D. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。

答え・解説

正答：B. マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。

解説：給水方式は建物規模や地域条件により異なり、維持管理や衛生管理の論点となる。

要点：建築設備・給水

Q075

4択

給水方式

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. マンションの給水方式は、全国すべての建物で井戸水をバケツで運ぶ方式だけである。
B. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
C. 大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。
D. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。

答え・解説

正答：A. マンションの給水方式は、全国すべての建物で井戸水をバケツで運ぶ方式だけである。

解説：給水方式は建物規模や地域条件により異なり、維持管理や衛生管理の論点となる。

要点：建築設備・給水

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q076

○ ×

給水方式

基礎確認：次の説明は適切か。
マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○
解説：給水方式は建物規模や地域条件により異なり、維持管理や衛生管理の論点となる。
要点：建築設備・給水

Q077

○ ×

給水方式

基礎確認：次の説明は適切か。
マンションの給水方式は、全国すべての建物で井戸水をバケツで運ぶ方式だけである。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×
解説：給水方式は建物規模や地域条件により異なり、維持管理や衛生管理の論点となる。
要点：建築設備・給水

Q078

2択

給水方式

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. マンションの給水方式は、全国すべての建物で井戸水をバケツで運ぶ方式だけである。
2. マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。

答え・解説

正答：マンションの給水方式は、全国すべての建物で井戸水をバケツで運ぶ方式だけである。
解説：給水方式は建物規模や地域条件により異なり、維持管理や衛生管理の論点となる。
要点：建築設備・給水

Q079

4択

給水方式

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
- B. マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。
- C. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
- D. これは会計上の未収金の別名である。

答え・解説

正答：B. マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。
解説：給水方式は建物規模や地域条件により異なり、維持管理や衛生管理の論点となる。
要点：建築設備・給水

Q080

4択

給水方式

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。
- B. マンションの給水方式は、全国すべての建物で井戸水をバケツで運ぶ方式だけである。
- C. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。
- D. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。

答え・解説

正答：B. マンションの給水方式は、全国すべての建物で井戸水をバケツで運ぶ方式だけである。
解説：給水方式は建物規模や地域条件により異なり、維持管理や衛生管理の論点となる。
要点：建築設備・給水

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q081

○ ×

消防設備点検

次の記述は正しいか。
消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：自動火災報知設備、消火器、避難器具などは法定点検の対象となる。

要点：消防法・消防設備

Q082

○ ×

消防設備点検

次の記述は正しいか。
消防用設備等は、設置後に点検してはならない。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：自動火災報知設備、消火器、避難器具などは法定点検の対象となる。

要点：消防法・消防設備

Q083

2択

消防設備点検

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 消防用設備等は、設置後に点検してはならない。
2. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。

答え・解説

正答：消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。

解説：自動火災報知設備、消火器、避難器具などは法定点検の対象となる。

要点：消防法・消防設備

Q084

4択

消防設備点検

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. 消防用設備等は、設置後に点検してはならない。
- B. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
- C. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。
- D. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。

答え・解説

正答：C. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。

解説：自動火災報知設備、消火器、避難器具などは法定点検の対象となる。

要点：消防法・消防設備

Q085

4択

消防設備点検

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 排水トラップは、封水により下水臭や害虫の侵入を防ぐ役割を持つ。
- B. 消防用設備等は、設置後に点検してはならない。
- C. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。
- D. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。

答え・解説

正答：B. 消防用設備等は、設置後に点検してはならない。

解説：自動火災報知設備、消火器、避難器具などは法定点検の対象となる。

要点：消防法・消防設備

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q086

○ ×

消防設備点検

基礎確認：次の説明は適切か。
消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○
解説：自動火災報知設備、消火器、避難器具などは法定点検の対象となる。
要点：消防法・消防設備

Q087

○ ×

消防設備点検

基礎確認：次の説明は適切か。
消防用設備等は、設置後に点検してはならない。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×
解説：自動火災報知設備、消火器、避難器具などは法定点検の対象となる。
要点：消防法・消防設備

Q088

2択

消防設備点検

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 消防用設備等は、設置後に点検してはならない。
2. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。

答え・解説

正答：消防用設備等は、設置後に点検してはならない。
解説：自動火災報知設備、消火器、避難器具などは法定点検の対象となる。
要点：消防法・消防設備

Q089

4択

消防設備点検

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
B. これは会計上の未収金の別名である。
C. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。
D. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。

答え・解説

正答：C. 消防用設備等は、消防法に基づく点検・報告が必要となる。
解説：自動火災報知設備、消火器、避難器具などは法定点検の対象となる。
要点：消防法・消防設備

Q090

4択

消防設備点検

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. 外壁目地やサッシ周りのシーリング材は、紫外線や経年により劣化し、防水性能が低下する。
B. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。
C. 消防用設備等は、設置後に点検してはならない。
D. 塩化物イオンの影響により鉄筋腐食が進む劣化を塩害という。

答え・解説

正答：C. 消防用設備等は、設置後に点検してはならない。
解説：自動火災報知設備、消火器、避難器具などは法定点検の対象となる。
要点：消防法・消防設備

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q091

○ ×

大規模修繕工事

次の記述は正しいか。
大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○
解説：大規模修繕は建物の性能維持と資産価値保全に重要である。
要点：維持修繕・大規模修繕

Q092

○ ×

大規模修繕工事

次の記述は正しいか。
大規模修繕工事では、外壁補修や防水改修を扱ってはならない。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×
解説：大規模修繕は建物の性能維持と資産価値保全に重要である。
要点：維持修繕・大規模修繕

Q093

2択

大規模修繕工事

次のうち、正しい記述はどちらか。

選択肢

1. 大規模修繕工事では、外壁補修や防水改修を扱ってはならない。
2. 大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。

答え・解説

正答：大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。
解説：大規模修繕は建物の性能維持と資産価値保全に重要である。
要点：維持修繕・大規模修繕

Q094

4択

大規模修繕工事

次のうち、最も適切なものはどれか。

選択肢

- A. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
B. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
C. 大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。
D. 大規模修繕工事では、外壁補修や防水改修を扱ってはならない。

答え・解説

正答：C. 大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。
解説：大規模修繕は建物の性能維持と資産価値保全に重要である。
要点：維持修繕・大規模修繕

Q095

4択

大規模修繕工事

次のうち、不適切なものはどれか。

選択肢

- A. 屋上防水層の劣化は漏水原因となるため、定期点検と計画的な改修が重要である。
B. 大規模修繕工事では、外壁補修や防水改修を扱ってはならない。
C. 鉄筋コンクリート造では、コンクリートが主に圧縮力に抵抗し、鉄筋が主に引張力に抵抗する。
D. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。

答え・解説

正答：B. 大規模修繕工事では、外壁補修や防水改修を扱ってはならない。
解説：大規模修繕は建物の性能維持と資産価値保全に重要である。
要点：維持修繕・大規模修繕

科目：建築・設備・維持修繕 | 1ページ5問・左：問題 / 右：答えと解説

Q096

○ ×

大規模修繕工事

基礎確認：次の説明は適切か。
大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：○

解説：大規模修繕は建物の性能維持と資産価値保全に重要である。

要点：維持修繕・大規模修繕

Q097

○ ×

大規模修繕工事

基礎確認：次の説明は適切か。
大規模修繕工事では、外壁補修や防水改修を扱ってはならない。

選択肢

○
×

答え・解説

正答：×

解説：大規模修繕は建物の性能維持と資産価値保全に重要である。

要点：維持修繕・大規模修繕

Q098

2択

大規模修繕工事

次のうち、誤っている記述はどちらか。

選択肢

1. 大規模修繕工事では、外壁補修や防水改修を扱ってはならない。
2. 大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。

答え・解説

正答：大規模修繕工事では、外壁補修や防水改修を扱ってはならない。

解説：大規模修繕は建物の性能維持と資産価値保全に重要である。

要点：維持修繕・大規模修繕

Q099

4択

大規模修繕工事

管理業務主任者試験の基礎知識として、正しいものはどれか。

選択肢

- A. この設備は点検してはならず、劣化も発生しない。
- B. 大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。
- C. 建物の維持修繕とは完全に無関係である。
- D. これは会計上の未収金の別名である。

答え・解説

正答：B. 大規模修繕工事では、外壁補修、防水改修、鉄部塗装、シーリング改修などが対象となりやすい。

解説：大規模修繕は建物の性能維持と資産価値保全に重要である。

要点：維持修繕・大規模修繕

Q100

4択

大規模修繕工事

管理業務主任者試験の基礎知識として、誤っているものはどれか。

選択肢

- A. コンクリートの中性化が進むと、鉄筋を保護するアルカリ性が低下し、鉄筋腐食のリスクが高まる。
- B. 大規模修繕工事では、外壁補修や防水改修を扱ってはならない。
- C. 外壁タイルの浮きは、剥落事故につながるおそれがあるため、調査と補修が重要である。
- D. マンションの給水方式には、受水槽方式、直結増圧方式などがある。

答え・解説

正答：B. 大規模修繕工事では、外壁補修や防水改修を扱ってはならない。

解説：大規模修繕は建物の性能維持と資産価値保全に重要である。

要点：維持修繕・大規模修繕